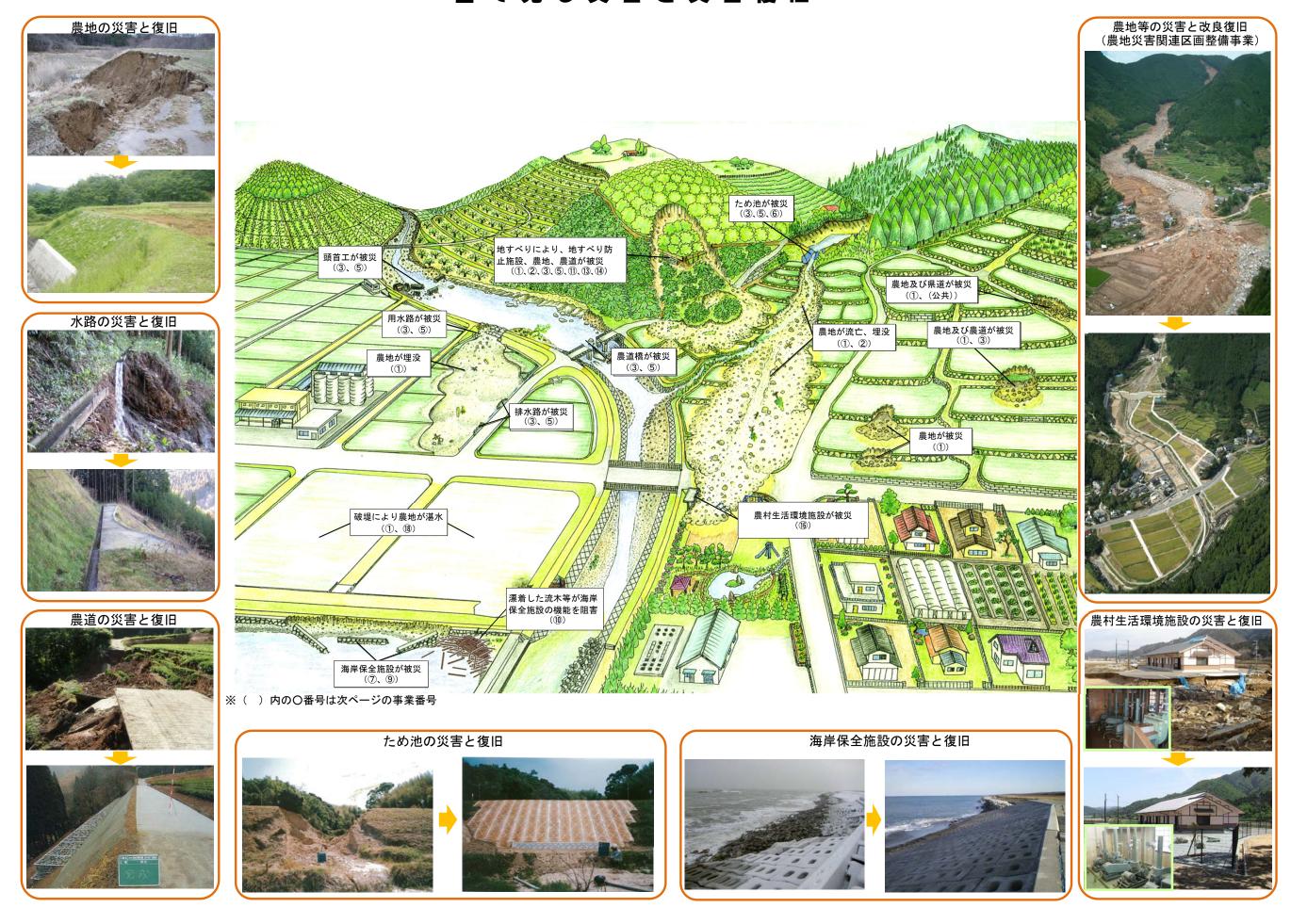


## 目で見る災害と災害復旧



#### 災害の形態と対応する災害復旧事業 が 被 被災箇所の復旧 災害とは、 ●現に耕作若しくは肥培管理を行ってい 併せて、隣接農地の一体的な区画整備 る土地又はいつでも耕作可能な休耕地 跭 等で、水田、畑地、果樹園、飼料畑、 苗圃、わさび田、くわい田、茶園、桑 水 園、石垣、いちご畑等 ★実験農場、採草地、放牧地、耕作許可 のない河川敷地内の耕地、転用予定の 農地、家庭菜園、農地面の傾斜が20° 以上の農地(※1)、土層厚さ40cm 未満の農地等は対象外 地すべり 農業用施設が被災 被災箇所の復旧 一般の施設 国営事業実施中又は完了地区の施設 地 ●用排水路、ため池、頭首工、揚水施設、 農業用道路(有効幅員1.2m以上)、干 併せて、被災事象に見合う未被災施設等の補強 拓堤防、輪中堤防、海岸堤防、防災ため その他の異常な 池、温水ため池、土留工、土砂だめ工、 併せて、被災ため池又は一連の地域内のため池の整備 天 然 現 象 階段工等で受益戸数が2戸以上(※2) 海岸保全区域内で海岸保全施設が被災 ●降雨による災害 海岸保全施設の復旧 一般の区域 「24時間雨量80mm以上 国営事業実施中の区域 又は 時間雨量概ね20mm以上 併せて、被災施設又は一連施設の補強 ●河川の出水による災害 「その地点の水位がはん濫

漂着した流木等が海岸保全施設の機能を阻害

その地点の水位がはん濫 注意水位以上 又は 融雪水のように長期にわ たる出水

●高潮による災害 [暴風等による高潮、波浪 又は津波

- ●暴風による災害 「最大風速15m以上
- ●地すべりによる災害
- ●地震による災害
- ●火山噴火の降灰等による 農地の災害 「堆積厚が粒径0.25mm以下」

堆積厚が粒径0.25mm以下 は5cm以上、粒径1mm以下 は2cm以上

- ●干ばつによる災害 「連続干天日数 (日雨量 5mm未満の日を含む) が 20日以上
- ●落雷・雪害・竜巻による 災害
- ★過年災、設計不備、工事 の施行粗漏、維持管理不 良のものは対象外

# 農村生活環境施設が被災

地すべり防止区域内で地すべりが発生

●農地等の災害と同一の災害により被災した集落排水施設、営農飲雑用水施設、農村公園施設、集落防災安全施設で受益戸数が2戸以上

特殊地下壕の陥没等による農地等の被災又は危険性の増

星常な干天が連続し、農作物が枯死する恐れがある

災害により浸入した海水で農地が塩害を受けた - 塩害の排除 発生の都度臨時特例措置

※1 農地の傾斜による生産条件の著しい格差がないと認められ、農林水産大臣が定める農作物を栽培する場合は除く。

※2 農業協同組合等が所有する倉庫、加工施設、共同作業場等の共同利用に供する施設(農林水産業共同利用施設)の復旧には、国による補助事業制度(農林水産業共同利用施設災害復旧事業)あり。 なお、営農施設(ハウス等の個人利用施設)は災害復旧事業の対象外。

流木等の撤去

一般の区域

国営事業実施中の区域

国営事業実施中の区域

一般の区域(追加指定も可)

特殊地下壕に対する防災処理・

: 一般関連事業

地すべり防止施設の復旧

緊急を要する地すべり防止

工事

農村生活環境施設の復旧

併せて、被災施設又は一連施設の補強

湛水の排除

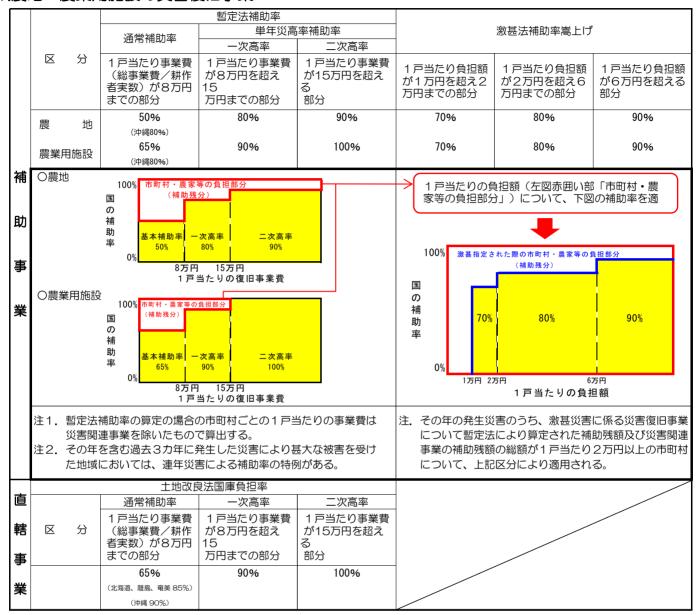
## 災害復旧事業の概要

	事業名	事業内容	事業主体	主な採択要件補助率又は負担率		
	農地災害復旧事業	2 3.1.13 2	都道府県	1箇所の工事費が40万円以上のもの	災害復旧事業の補助率及び負担率(3	
)	辰地火台後旧争未	辰地の火合後に	市町村土地改良区等	1回別の工事員が40万円以上のもの	火台後に事業の構成率及び負担率(3 ページ)参照	
2)	農地災害関連区画整備事業	災害復旧事業と併せて行う隣接農 地を含めた一体的な区画整理	市 町 村	再度災害防止のために行うものであって、受益戸数2戸以上、工事費400万円以上、復旧事業の被災面積・復旧工事費以内、他の改良計画がなく、事業効果大のもの	50/100	
)	農業用施設災害復 旧事業	農業用施設の災害復旧	都道府県市町村土地改良区等	1箇所の工事費が40万円以上のもの	災害復旧事業の補助率及び負担率 (3ページ) 参照	
)	直轄・代行災害復 旧事業	直轄・代行土地改良事業に係る農 地・農業用施設の災害復日	国	実施中の地区においては、事業費が500万円以上(1箇所75万円以上のもの)であり、かつ基本事業の当該年度残事業費の1%を超えるもの完了地区においては1箇所の事業費が2,000万円以上のもの	災害復旧事業の補助率及び負担率 (3 ページ) 参照	
)	農業用施設災害関 連事業	災害復旧事業と併せて行う再度災 害防止に係る残存施設等の補強	市町村	工事費200万円以上、かつ復旧工事 費以内、他の改良計画がなく、効果 大のもの	50/100 (沖縄 60/100) (激甚災害の嵩上 げあり	
3	ため池災害関連特 別対策事業	激甚な災害を受け、災害復旧事業 のみでは十分な効果が期待できな い場合に、被災ため池と一連の地 域内又は上流の土砂災害に関連し て緊急に対策が必要なため池につ いて、災害復旧事業と併せて行う ため池の整備	市町村	工事費が1,500万円以上、復旧工事 費以内、他の改良計画がなく、効果 が大であって、総貯水量が1,000㎡ 以上、かつ堤体の漏水、変形、余水 吐の破損、断面不足、取水施設のぜ い弱化等が生じているもの	( 激甚災害の嵩上 ) 50/100 ( げあり	
)	海岸保全施設災害 復旧事業	海岸保全区域内の海岸保全施設の 災害復旧			災害復旧事業の補助率及び負担率 (3 ページ) 参照	
)	直轄海岸保全施設 災害復旧事業	国が施行する海岸保全区域に係る 海岸保全施設の災害復旧	玉	1箇所の事業費が75万円以上のもの の合計が500万円以上、かつ当該年 度の残事業費の1%を超えるもの	災害復旧事業の補助率及び負担率(3ページ)参照	
)	海岸保全施設災害 関連事業	海岸保全施設の災害復旧に併せて 行う当該被災施設又は一連の施設 整備		1箇所の工事費が600(県、指定都市800)万円以上、かつ復旧工事費を超えないものであって、他の改良計画がなく、効果大のもの	1/2 北鯔・鸛 5.5/10 沖縄 3/5 奄美 2/3	
))	災害関連緊急大規 模漂着流木等処理 対策事業	洪水、台風等により海岸に漂着した流木等が海岸保全施設の機能を 阻害する場合に緊急的に実施する 流木等の処理	都道府県市町村	一の事業主体の事業費が200万円以上、かつ海岸保全区域内、海岸保全施設の区域及びこれら施設から1km以内の区域に漂着した漂着量が1,000mを超えるもの	1/2	
)	地すべり防止施設 災害復旧事業	地すべり防止区域内の地すべり防止施設の災害復旧	都 道 府 県	1箇所の工事費が120万円以上のもの	災害復旧事業の補助率及び負担率(3 ページ)参照	
)	直轄地すべり防止施設災害復旧事業	国が施行する地すべり防止区域に 係る地すべり防止施設の災害復旧	玉	1箇所の事業費が75万円以上のものの合計が500万円以上、かつ当該年度の残事業費の1%を超えるもの	災害復旧事業の補助率及び負担率 (3ページ) 参照	
	地すべり防止施設 災害関連事業	地すべり防止施設の災害復旧に併せて行う当該被災施設又は一連の施設の整備	都道府県	1箇所の工事費が800万円以上、かつ復旧工事費を超えないものであって、他の改良計画がなく、効果大のもの	1/2 ( 激甚災害の嵩上 ) げあり	
)	災害関連緊急地す べり対策事業	地すべり防止区域内において緊急 に実施することが必要と認められ る地すべり防止工事	都道府県	1箇所の事業費が600万円を超えるも の	渓流工事 2/3、その他工事1/2	
)	直轄地すべり対策 災害関連緊急事業	直轄工事の施行区域又は当該年度 内の施行が確実な区域において当 該年度内に緊急に行う必要がある と認められる地すべり防止工事	围	1箇所の事業費が600万円を超え、か つ当該年度内に地すべり防止工事が 予定されていないもの	渓流工事 2/3、その他工事1/2	
)	災害関連農村生活 環境施設復旧事業	農地等の災害と同一の災害により 被災した農村生活環境施設(農業 農村整備事業で実施したものに限 る。)の災害復旧	市町村土地改良区等	1箇所の工事費が200万円以上、かつ 受益戸数2戸以上であって、維持工 事、維持管理不良、設計・施工不 良、他の事業の施工中に生じたもの でないもの	50/100 激甚災害による集落排水施設復旧事業費 その他の農村生活環境施設復旧事業費が 甚大な市町村(6,000万円以上等) 80/100	
)	特殊地下壕対策事業	農地等の災害復旧事業に伴う場合 又は農地等に対する危険度が増し 放置し難い場合に、特殊地下壕の 埋戻し、防災処理等を実施	都道府県市町村	1箇所の工事費が200万円以上のもの	50/100	
3)	湛水排除事業	激甚災害の指定を受けた区域において、土地改良区等が行う湛水排除	土地改良区等	浸水面積が1週間以上にわたり30ha 以上である区域であって、湛水排除 量が30万㎡を超えるもの	9/10	

: その他関連事業

## 災害復旧事業の補助率及び負担率

#### 1.農地・農業用施設の災害復旧事業



#### 2.海岸保全施設・地すべり防止施設の災害復旧事業

	負担 法国庫負	担 率	激 甚 法 国 庫 負 担 率 嵩 上 げ	
補	通 常 国 庫 負 担 率 		区 事業ごとの負担合計額 負担	庫
助	当するまでの事業費 「え2倍に達するまでの	標準税収入の2倍を超 える事業費	都 " 50/100 " 100/100 " 55	5
及	l事業費 2/3 I 3/4	I I	道	0
び				)_
直	標準税収入は、その年の当該地方公共団体の		市 標準税収入の 5/100を超え 10/100までの額 60 10/100 11 10/100 11 10/100 11 70	
轄	2. 北海道、離島、奄美、沖縄、小笠原諸島にて担率により算出した率が4/5に満たない場		町	·
事	3. その年を含む過去3力年に発生した災害によ	い甚大な被害を受け	村   " 400/100を超える額 90	)
業	た地域においては、連年災害による負担率 <i>0</i>	はにおいては、連年災害による負担率の特例がある。		

#### 3.災害関連事業の負担率及び補助率の嵩上げ

災害関連事業のうち、激甚法の適用を受ける事業の負担率及び補助率の嵩上げは、農業用施設に係るものにあっては、1.の激甚法補助率嵩上げ、海岸保全施設、地すべり防止施設に係るものにあっては、2.の激甚法国庫負担率嵩上げによる。

## 激甚災害指定基準(農地・農業用施設災害復旧事業関係)

#### (1) 激甚災害指定基準〈本激の基準〉

・指定単位 : 災害単位 激甚災害 : A基準とB基準→災害査定見込額と全国農業所得推定額や当該県の農業所得推定額との比較 • 指定基準

全国の災害復旧事業の事業費の査定見込額 A基準 > 全国農業所得推定額×0.5%

B基準 全国の災害復旧事業の事業費の査定見込額 全国農業所得推定額×0.15%

かつ、以下のいずれかの基準を満たす都道府県が1以上あること

都道府県の災害復旧事業の事業費の査定見込額 > 当該都道府県の農業所得推定額×4%

都道府県の災害復旧事業の事業費の査定見込額 10億円 >

#### (2) 局地激甚災害指定基準〈局激の基準〉

局地激甚災害

・指定単位 : 災害毎に市町村単位 ・指定基準 : 通常指定(年度末)と早期指定

通常指定 (年度末)

当該市町村内の災害復旧事業の査定事業費 (1千万円以上)

当該市町村の農業所得推定額×10%

ただし、上記に該当する市町村の査定事業費を合算した額がおおむね5千万円未満である場合を除く

早期指定

次の事項に明らかに該当することとなると見込まれる災害

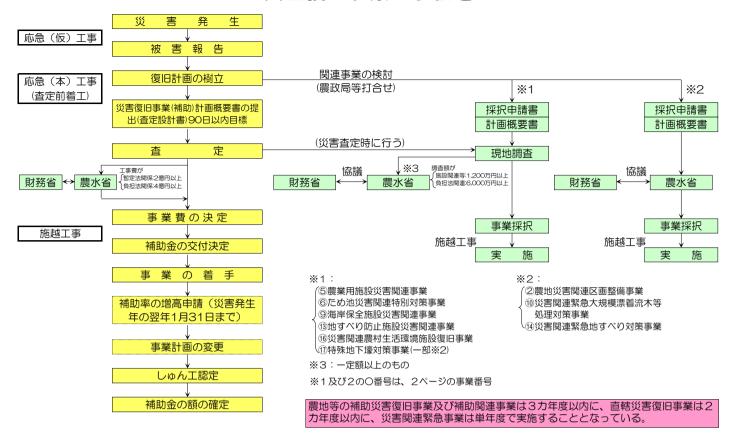
当該市町村内の災害復旧事業の事業費の査定見込額 ≫ 当該市町村の農業所得推定額×10%

ただし、当該災害に係る被害箇所の数がおおむね10未満のものを除く

### 地方財政措置(令和2年度)(農地·農業用施設等災害復旧事業関係)

	区分	対象施 設等		起債充当率(%)		元利償還金に対する地方 交付税等の措置(基準財	備者	
	<b>Б</b> Л	对		現年	過年		ин <i>4</i> 5	
	補助災害	農地・農林漁業施設		90	80	95	※1 激甚災害に係る1箇所の事業	
		公共土木施設		100		95	費が40万円以上の場合に限る。	
災	単独災害	農林漁業施設	65				※2 農地等小災害は、1筒所の事	
l_		農地 ※1	65			47.5~85.5 [財政力補正]	業費が13万円以上40万円未満の激	
害		公共土木施設	100				甚災害で事業費の合計額が800万円	
復	農地等小災害 ※2	農地					を超え、かつ農地等小災害債の起債	
^		1戸当たり2万円以下	50				1件限度額を超える市町村が対象と	
旧		〃 超	74			100	なる。	
事		農林業施設				100	注) 災害関連事業のうち、※印につ	
<b>₽</b>		1戸当たり2万円以下	65				いては、地方債、事業費補正の充当	
業		〃 超	80				残が農業行政費等の単位費用に含ま	
	公共土木施設等小災害	公共土木施設	100			66.5~95.0 [財政力補正]	れる。	
債	直轄災害	農業用施設		90	80	95	注)補助災害、直轄災害、災害関連	
		地すべり防止施設		100	90	30	(農地災害関連区画、農村生活環	
	災害関連(公営企業債)	集落排水施設	100			50 (特別交付税)	境、鉱毒対策は除く。)の現年債分	
	災害関連	農業用施設※		40	40		については、特別交付税の対象と なっている。	
	上段:財源対策債等分	ため池※ }		40 50	5		<b>なっている。</b>	
公	下段:通常分	農地災害関連※ 丿			- 00	50		
		海岸保全施設※		40	40	0		
共		海片体主他政公		50	50	ů		
事		地すべり防止施設※		40	40			
₹		起,一个例正地改入		50	50			
業		災害関連緊急地すべり ጊ		10	-	50		
l		直轄災害関連緊急地すべり		80	-	57		
等		災害関連緊急大規模漂着		40	-	50		
  債		流木等処理対策※		50	_	0		
		鉱毒対策※	40			50		
		₩1 中 と1 水 公	50			0		

## 災害復旧事業の手続き



## 問い合わせ先

	担当局名				電 話 番 号		
				担当部課名等	代表電話	直通電話	
農	村	振	興馬	整備部 防災課 災害対策室	03-3502-8111	03-6744-2211	
					内線 (5663)	FAX03-3592-0304	
東	北	農	政局	引農村振興部 防災課	022-263-1111	022-262-1394	
					内線 (4453)	FAX022-216-4287	
関	東	農	政局	Ы <mark>農村振興部 防災課</mark>	048-600-0600	048-740-0053	
					内線 (3552)	FAX048-740-0083	
北	陸	農	政局	Ы <mark>農村振興部 防災課</mark>	076-263-2161	076-232-4727	
					内線 (3581)	FAX076-234-8051	
東	海	農	政局	引農村振興部 防災課	052-201-7271	052-223-4640	
					内線 (2673)	FAX052-220-1681	
近	畿	農	政局	引農村振興部 防災課	075-451-9161	075-414-9562	
					内線 (2571)	FAX075-417-2090	
中	国匹	1国	農政局	引農村振興部 防災課	086-224-4511	086-224-9424	
					内線 (2681)	FAX086-234-7445	
九	州	農	政局	引農村振興部 防災課	096-211-9111	096-355-8543	
					内線 (4802)	FAX096-211-9350	
北	海	道開	引発 周	∄農業水産部 農業整備課	011-709-2311	011-709-2136	
<b>1</b>					内線 (5572)	FAX011-709-2146	
沖	縄糸	:合:	事務局	引農林水産部 農村振興課	098-866-0031	098-866-1652	
					内線 (83352)	FAX098-860-1194	

(令和3年4月)